

4 よくある質問



Q 1 交流活動でのグループの人数は、多くしたり少なくしたりすることは可能ですか？

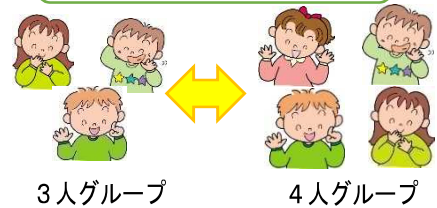
A

3～4人でのグループ編成が適当です。発達の段階や学級の実態によって人数を調整します！

本 研究では、互いのワークシートに記入し合ったりシェアリングにおいて気付きや感想を出し合ったりする活動をおおむね4人グループで提案しています。2人では、友達からのフィードバックが1人からだけになってしまい、十分な自己理解、他者理解につながりません。一方、5人以上になると、ワークシートへ記述したりシェアリングで発言したりする1人当たりの時間が制限されることになり、やはり効果が薄れてしまいます。書く活動に時間が掛かる、話し合い活動に慣れていないといった場合は、まず3人で行ってみることで、活動に対する子供の負担感を減らします。

また、活動の手順を分かりやすく提示したり話し合いの際に進行役を決めたりしてシェアリングに臨むようにすると、学習の効果が高まります。

実態に合わせて人数を調整



3人グループ

4人グループ

ぼくが進行するね。では、時計回りに発表をお願いします。



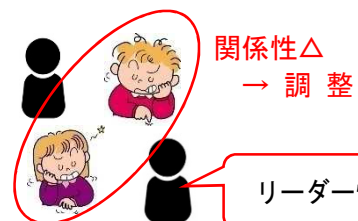
Q 2 グループングをする際に、気を付けることがありますか？

A

心を取り扱う授業では、子供同士の関係性に配慮することが大事です！

自 分や友達の「強み」を互いに伝え合い認め合うためには、安心して自分を出すことのできる環境が不可欠です。日頃から関係性が良くない子供同士のグループングは避けます。また、各グループでの話し合い活動がスムーズに進行するように、リーダー性のある子供をバランスよく配置することも大切です。

もちろん、いつもの班（生活班）での活動が可能な場合もあります。その場合でも、授業の前や交流活動の前に心をほぐすような活動を取り入れることで、学習の効果が高まります。



アイスブレイキングで心ほぐし！

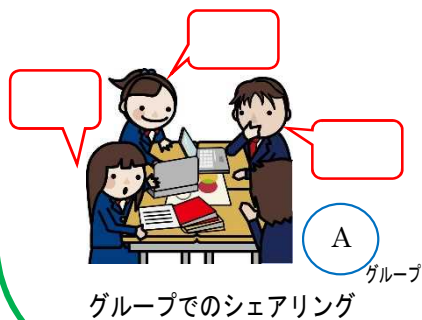
Q 3 グループでの交流活動をした後、全体でのシェアリングは必要ですか？

A

全体で交流することで、更に自他の「強み」を再確認でき、より深い自己理解、他者理解につながります！

交

交流活動において、自己理解だけでなくグループ内の友達に対する理解が深まり関係性も良くなります。学習のまとめとして全体で交流することで、学級全体に温かい肯定的な雰囲気広がります。更に自他の「強み」を再確認することにつながります。学習後の子供たちへの教師からのフィードバックも効果的です。



〇グループの活動の様子を見て、気持ちが温かくなったよ。

温かい肯定的な雰囲気



学級全体でのシェアリング

Q 4 小学校低学年での実践は可能ですか？

A

4年生以上での実践をお勧めします！

自己肯定感は、小学校中学年頃から持ち始めると言われています。互いに自他の「強み」を知ったり認め合ったりする活動を通しじっくりと自分を見つめることで、自己肯定感を高めていきます。また、交流活動では、自分のワークシートだけでなく友達のものにも記入したりシールを貼ったりします。それらの活動後にはシェアリングを行うため、充実した話し合い活動が可能な4年生以上が適していると考えます。



交流活動では・・・

- ・ワークシートに記入する。
 - ・シールを貼る。
 - ・話し合う。
- などの活動がたくさん！



Q 5 実施時期は、いつ頃が適当ですか？また、3 時間全てをしなくてもよいでしょうか？

A

早い時期での実践は、学級での人間関係づくりにつなげることができます。
3 時間の実践をお薦めしますが、1 つの活動を複数回行うことも可能です。

プラスのフィードバックを伴う交流活動は、温かい人間関係の構築につながります。

時期を選ばずにできますが、学年当初や1 学期に行うと、自分や友達のよさに気づきそのよさを大事にしていこうという気持ちを早い段階で学級に広げることが期待できます。もちろん、分けて行うことも可能です。

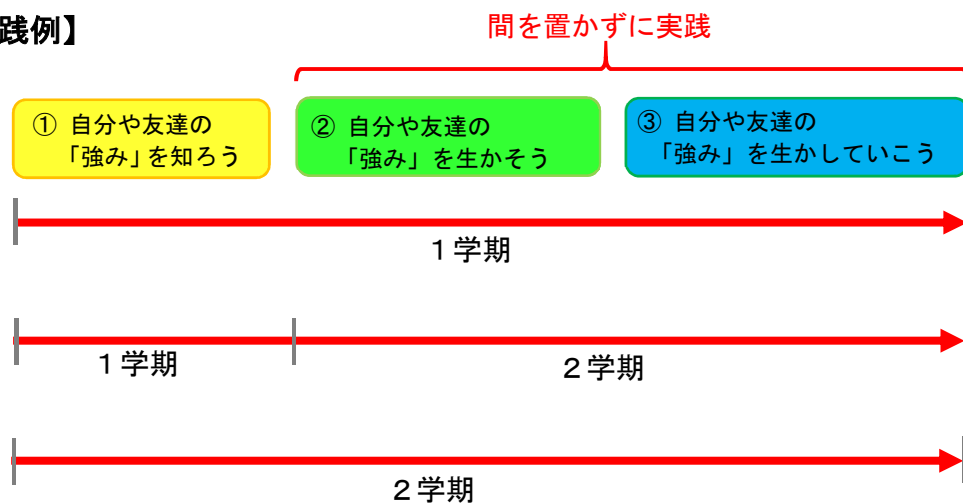
活動内容を

- ① 自分や友達の「強みを」知ろう
- ② 自分や友達の「強み」を生かそう
- ③ 自分や友達の「強み」を生かしていこう

という流れで構成しているため、3 時間の実践が望ましいと考えます。特に、②と③は間を置かずに続けて実践することで学習の効果が高まります。

①の「自分ウェビング」や②の「星☆いくつ」の交流活動は、席替え等でグループのメンバーが新しくなったときなど、短時間で何度も行うことが可能です。

【実践例】



Q 6 2 時目の交流活動「星☆いくつ」の項目を変えて実施してもよいでしょうか？

A

学級の実態に合わせて、項目を入れ替えることも可能です！

各校種で作成した 10 項目は、一般的な児童生徒の実態や発達の段階に合わせて選定したものです。

その他の項目例を下に例示しています。学級の実態に合わせて項目の入れ替えをすることが可能です。



下の項目例を参考に！



ワークシート 「星☆いくつ」 ※小学校版

く) 年 () 級 () 冊 名前 _____

① 1～10の中から、あなたに当てはまるものを数個に4つ丸んでもらって、シールを貼ってもらいましょう。
② 1～10の中からあなたに当てはまるものを4つ丸んでも、シールを貼りましょう。
③ 1～10の中から自分の「強み」だと思うものを2つ丸んでも、シールを貼りましょう。

| 星☆いくつ シールを貼る | ★ | ★ | ★ | ★ |
|-----------------|---------------|---|---|---|
| 1 | おもしろい | | | |
| 2 | 明るくて いつもニコニコ | | | |
| 3 | 思いやりがある・やさしい | | | |
| 4 | お世話がすぎ・お世話が上手 | | | |
| 5 | 話を聞くのが 上手 | | | |
| 6 | 最後まで がんばる | | | |
| 7 | 体力が ある | | | |
| 8 | あいさつ名人・遊事名人 | | | |
| 9 | はきはきと 話す | | | |
| 10 | グッドアイデアを 思いつく | | | |

④ ①～③を基として、思ったことや感じたことを書きましょう。

「星☆いくつ」の項目例

※中学校、高等学校で取り扱っている項目も含んでいます。

元気がある・エネルギッシュ
 努力家だ
 進んで働く
 想像力豊か・アイデアマン
 物事をよく考える
 話をするのが上手
 素直に反省することができる
 よく気が付く
 好奇心旺盛

めんどろみがよい
 自分の考えをはっきり言う
 けじめをつけることができる
 正直・正義感がある
 発想がおもしろい
 ねばり強い
 ポジティブに物事を考える
 リーダーシップがある
 頼りになる